

## 青年団体「星に願いを」が手持ち花火大会を開催

青年団体「星に願いを」（宮崎秀一代表）が9月3日、芦別小学校グラウンドで手持ち花火大会を行い、約230人の小学生や保護者などが集まりました。

これは、コロナ禍で市内のイベントなどが休止される中、子ども達に夏の思い出を残してあげたいと、同

団体が市内企業や市民有志から協賛金を集めて行ったものです。

当日は、用意した約4千本の手持ち花火が来場者に配布され、来場者はそれぞれのグループに分かれて手持ち花火を楽しんだり、噴出花火を眺めたりと思い思いの時間を過ごしていました。



## 国際交流協会が道の駅屋外休憩施設にベンチを寄贈



9月6日、芦別市国際交流協会（中本純一会長）は、創立30周年記念事業として道の駅スタープラザ芦別の屋外に新設された休憩施設にベンチ4基を寄贈しました。

同協会は、平成3年に設立され姉妹都市のカナダ・シャーロットタウン市との交流事業や記念植樹、国際

友好ジャンボかぼちゃ祭りなどの事業を実施しています。

贈呈式で、中本会長は「ベンチでゆっくりくつろいでもらいたい」と語り、荻原市長から「来場されるかたが快適に利用いただけるよう大切に使います。」と感謝状の贈呈がありました。

## 芦別青年会議所が学生らと「あしべつカルタ」を作製

「みんなで作ろう！みんなで遊ぼう！！あしべつカルタ」が9月11日、青年センターで開催されました。

これは、芦別のオリジナルカルタと一緒に制作することで子ども達に郷土愛を育もう、と一般社団法人芦別青年会議所がまちづくり事業の一環として主催したものです。

当日は、市内の中学生4人と高校生1人が参加し、「を」と「ん」を除く44字のひらがなから読み札を完成させた後、読み札に合わせた絵札のイラストを描き上げました。

後日、70個のカルタを作製予定で、参加者は「自分の絵がカルタになるのが楽しみ」と話していました。



## 秋の高校野球大会空知支部予選を市民球場で開催



第75回秋季北海道高等学校野球大会空知支部予選が、9月10日から18日まで、なまこ山総合運動公園内の市民球場で行われました。

予選の組み合わせ抽選会が1日、芦別高校で開かれ、管内の15校11チームが出場し、全道大会の代表2枠を巡り熱戦が繰り広げられました。

芦別高校は、深川西高校と滝川工業高校との3校連合チームで滝川高校と対戦しました。

A・Bブロックに分かれてのトーナメント方式の試合が行われ、滝川高校とクラーク記念国際高校の2チームが、30日から札幌市内の球場で開かれる全道大会に出場します。